

# 4 下水道整備状況

## ① 下水道の整備状況

県が事業を実施する流域下水道

北勢沿岸流域下水道

(北部処理区) 事業着手 昭和51年度、 供用開始 昭和63年1月

(南部処理区) 事業着手 昭和62年度、 供用開始 平成 8年1月

中勢沿岸流域下水道

(雲出川左岸処理区) 事業着手 昭和56年度、 供用開始 平成 5年4月

(松阪処理区) 事業着手 平成 2年度、 供用開始 平成10年4月

(志登茂川処理区) 事業着手 平成 9年度、 供用開始 平成30年4月

宮川流域下水道

(宮川処理区) 事業着手 平成10年度、 供用開始 平成18年6月

市町が事業を実施する公共下水道 (平成29年度末)

津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、鳥羽市、

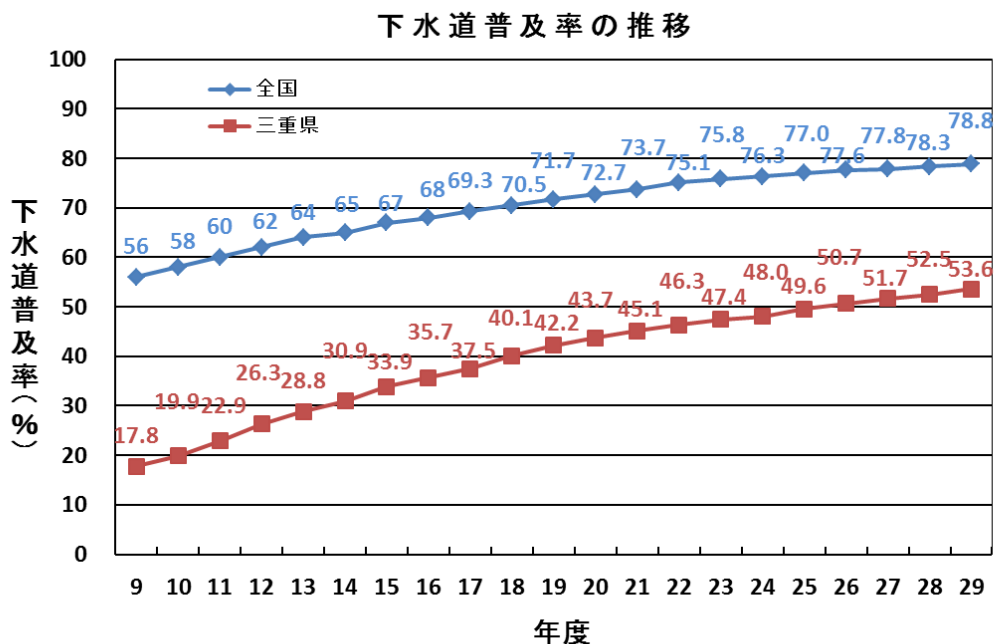
いなべ市、志摩市、伊賀市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、

多気町、明和町、大台町、玉城町、南伊勢町、御浜町

23市町(12市11町)で一部供用を開始しています。

## ② 下水道普及率の推移

本県では、下水道整備を県政の重点課題として位置付け整備を進めてきましたが、下水道普及率は平成29年度末で53.6%と全国の78.8%を下回っています。



$$\text{下水道普及率(\%)} = \frac{\text{供用開始処理区域内の人口}}{\text{住民基本台帳人口}} \times 100$$

### ③ 下水道事業の推移

本県では、市町と県が一体となって下水道整備を推進しています。

公共事業削減の流れや市町及び県の財政状況もあり、平成30年度の流域下水道事業費は平成10年度の約20%、三重県全体の下水道事業費は約30%となっており、これまで以上に計画的、効率的な事業の執行が必要となっています。

